

■**関口存男** **天才的ドイツ語学者で“関口信者”も。“ゾンダン”の愛称。新劇運動に参加し無声映画にも出演。**
せきぐちつぎお
日清戦争始・1894＝ 兵庫県姫路市本町で、武蔵国川越出身の陸軍主計大尉関口存啓の子に生まれる。母は品。父が通常の軍人と違って姫路師団から動くことがなかったため、安定した環境に育つ。

城南小学校に入学し、

日比谷公園・1903＝ **9歳**： 高等小学校に進んで、
日露戦争終・1905＝11歳： 満鉄発足・・1906＝12歳： 名門姫路中学に入学するが、
アヲヲ 創刊・ 1908＝14歳： 軍人になろうと、退学して、大阪地方幼年学校に入学、

大逆事件判決1911＝17歳： 卒業して、陸軍中央幼年学校本科に進学。_**ドイツ語組に入れられると、訳も分からずに原書のページを何日も声に出して迎えるうち、突然どンドン分り始める体験。**以後、まずそのまま暗記という方法で、
明治天皇没・1912＝**18歳**： 大正政変・・1913＝19歳： 卒業し、士官候補生として千葉県佐倉の歩兵連隊に配属後、東京の陸軍士官学校に入学するが、日記には批判を書きつけるなど、軍人ざらいになって行き、
21ヶ条要求・1915＝21歳： 肋膜炎に罹った直後に卒業(第27期)し、陸軍歩兵少尉任官と同時に休職の辞令を受けて帰郷、
民本主義・・1916＝22歳： 結婚し、熱海で静養後、新たな道めざして上京、上智大学哲学科に入学。村田実や青山杉作らと新劇劇団〔蹠路社〕を結成、以後公演活動に飛び回る。「春のめざめ」公演で訳者の野上豊一郎訳の間違いを指摘、長女が誕生。上智大在籍のまま、_**アテネフランセに入学。驚異的なスピードでフランス語も身につけ、**
ロシア革命・1917＝23歳 本格政党内閣1918＝24歳： 陸軍は予備役に。_**わずか1年で、校長のフランス人に合格点与えられ、アテネフランセ初等科の仏語教授、さらにラテン語教授となる。英語も中国語もよくできるほどの天才ぶりを発揮、**
ベルサイユ条約・1919＝25歳： 上智大学哲学科を卒業し、外務省訳科に勤務。映画理論家帰山教正が設立した〔映画芸術協会〕に村田・青山ら参加、青山の初監督作「いくら強情でも」や帰山監督の「悲劇になる迄」にメインキャストとして出演、大暴落・・・1920＝26歳 松竹キネマの配給で「いくら強情でも」、
原敬首相暗殺1921＝**27歳**： 文学部長になった野上豊一郎の推薦で、経歴無いながら法政大学予科講師となってようやく生活が安定すると、開発された“目白文化村”に新居建て、_**興味をひかれたもの全てを抜き書きする文例蒐集を始める。**ドイツ語教室で同僚となった内田百閒とは性格等正反対でうまく行かず、
円本時代始・1926＝32歳 難産で重度身障の四女を熱愛。刊行開始の〔世界戯曲全集〕のため、短期間に多数のドイツ古典劇を翻訳。
共産党事件・1928＝34歳： 東劇でのモリエール「ドン・ジュアン」を最後に〔蹠路社〕解散。岩波文庫でモリエール訳書「人間嫌ひ」出版。のち駆出しの出版社〔尚文堂〕から***“関口文法”第一作“独逸語文法”出版するも、話題にならず。**
海軍軍縮条約1930＝**36歳** 旗揚げした〔劇団新東京〕の第一回公演のために、ポーマルシェの「フィガロの結婚」を脚色(演出は青山)。
満州事変・・1931＝37歳 翌々年にかけて_「独逸語大講座(全六巻)」刊行。月刊誌〔初級ドイツ語〕創刊、ほとんど全部に腕を振る。
五一五事件・1932＝38歳： 「和文独訳漫談集」「和文独訳の実際」。***“新独逸語文法教程”は学界の注目浴び、熱狂的“関口信者”も誕生。**
国際連盟脱退1933＝39歳： 「標準初等ドイツ語講座」_**法政大学文学部教授となり、最初の研究書“独逸語前置詞の研究”。**日本放送協会ラジオ放送の**ドイツ語講座担当も始まる。**「標準独逸文法」はドイツ語教科書ベストセラーに。
帝人疑獄事件1934＝40歳 前年来の“法政騒動”で、同僚の内田百閒たちを法政大学から追放。
芥川直木賞始1935＝41歳 分冊式の「独作文教程」を刊行開始。_〔初級ドイツ語〕も語学雑誌として**驚異的売上を示す。**
日中戦争始・1937＝43歳 健保+総動員 1938＝44歳 可愛がっていた四女が死去。〔尚文堂〕が〔三修社〕となって後もここから出版。教科書「中級教材独逸語」「初級独逸語文法教程」「高等独逸文典」、参考書「独逸語学講話」、_**全62課をおさた“独作文教程”一巻を出版。**

第二次大戦始1939＝**45歳**： 大政翼賛会・1940＝46歳 ***日独伊三国同盟が調印され、敵性語とされた英仏語に対し、ドイツ語が優遇され、独逸文学にも脚光。**
日米開戦・・1941＝47歳 ラジオ放送のドイツ語講座はこの年まで続いた。
・・・・・1942＝48歳 東京に戻る。法政大学に在職のまま慶應義塾外国語学校講師となる。
創価学会検挙1943＝49歳 父が死去。法政大学教授辞職。
年金+総武装 1944＝50歳 法政大学予科教授を辞職し、外務省外国語学校教官となる。
敗戦・・・・1945＝51歳 一家で長野県妻籠に疎開直後、空襲で家が焼けるも、文例ノートは直前に運送屋に出されていて無事。疎開先では率先して協同開墾や公民館活動を行い、演劇同好会を組織するなど、_**社会教育家ぶりも発揮。**

新憲法公布・1946＝52歳 戦前在郷軍人会や文学報国会に属していただけの理由で公職追放となり、慶應義塾外国語学校辞職。
新憲法施行・1947＝53歳 ハイネ「抒情挿曲」を訳刊。
極東裁判決・1948＝**54歳** 翌年にかけて、格林メルスハウゼン「阿呆物語(三巻)」を訳刊。妻が病に倒れてまもなく、東京に戻り、妻を看病し、主宰する月刊〔基礎ドイツ語〕誌上にエッセイ連載しながら、「標準独逸語読本」、
朝鮮戦争始・1950＝56歳 高田外国語学校講師となる。_**文法書“新ドイツ語大講座(～の基礎)”、**
独立回復・・1951＝57歳 慶應義塾外国語学校に復職。「急就小独逸文法」、
メデー事件・1952＝58歳 早稲田大学文学部・早稲田大学大学院文学研究科・慶應義塾大学文学部の講師となる。
テレビ放送始・1953＝59歳 「独作文教程」を復刊。「並行独逸語教程」、
自衛隊発足・1954＝60歳 還暦祝いの日に風刺詩「狼と犬」発表。
55年体制始・1955＝61歳 「新標準独逸文法」。NHK〔ドイツ語初等講座〕担当し始め、
国連加盟・・1956＝62歳 慶應義塾大学文学部講師辞任して、_**ライフワーク“冠詞”の著述に専念、**
なべ底不況・1957＝**63歳**： 「初等ドイツ語講座」は、今なお人気が高い。体を酷使し過ぎて不眠症に陥り、酒や睡眠薬に蝕まれ、
インスタントメン・1958＝64歳 妻が死去してまもなく、NHK〔ドイツ語初等講座〕を続けるなか、***脳溢血により没した。没後に、代表作となる膨大な研究書“冠詞”が未完の第三巻まで刊行され、著作の多くは毎年のように版を重ねている。**留学経験皆無ながら高度なドイツ語能力を身につけ、発音も極めて流暢だったと伝えられる。ドイツ語や英語の他、フランス語やギリシア語、ラテン語にも通じ、ドイツ語の接続法の新しい呼び方を創始して、ドイツに逆輸入されるほど広まった。